

## 第2章 三股町の現況

### 2-1 三股町の概要

#### 1. 位置・地勢等

本町は、宮崎県の南西部、都城盆地の東部に位置し、東側は本県第一の都市である宮崎市に接し、北および西側は本県第二の都市である都城市に、南側は日南市に接している。

町の東部は「わにつか県立自然公園」をはじめとする豊かな自然の残る地域であり、鰐塚山に源を発する大淀川水系の沖水川が本町の中央を西流し、その流域には扇状地が形成され田畑が広がっている。西部は都城市街地と隣接していることから、急速に市街化・宅地化が進行している状況にあり、都城市のベッドタウンとして県内でも稀にみる人口増加がみられる町である。

交通網をみると、基幹道路として主要地方道都城北郷線が町中央を東西方向に貫通している。町北西部を国道269号、南西部を国道222号バイパスが通っており、それらを結ぶ形で県道、町道が巡らされている。

また、町北部から西部にかけてJR日豊本線が通っており、餅原駅、三股駅の2駅が存在している。



三股町の位置図

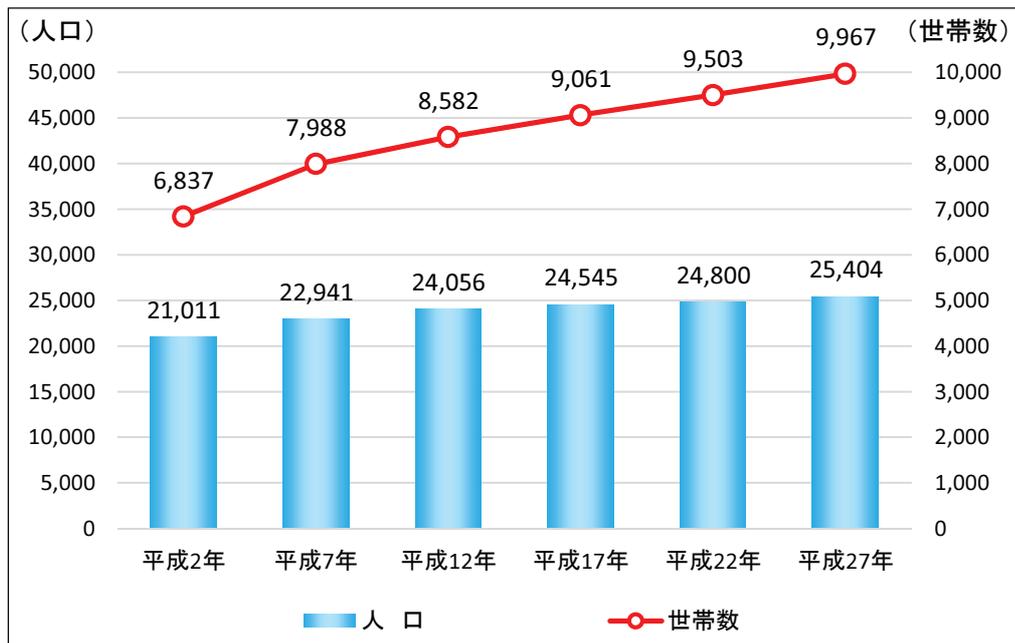
## 2. 社会・経済的状況

### (1) 人口・世帯数

平成27年現在、本町の人口は25,404人、世帯数は9,967世帯となっている。

経年変化をみると、人口は増加傾向で推移しているが、平成12年以前と比較すると増加率は鈍化している。

また、世帯当たり人員は、平成2年の3.07人から2.55人に減少しており、世帯規模が縮小している。



人口・世帯数の推移

表 人口・世帯数

(単位：人、世帯)

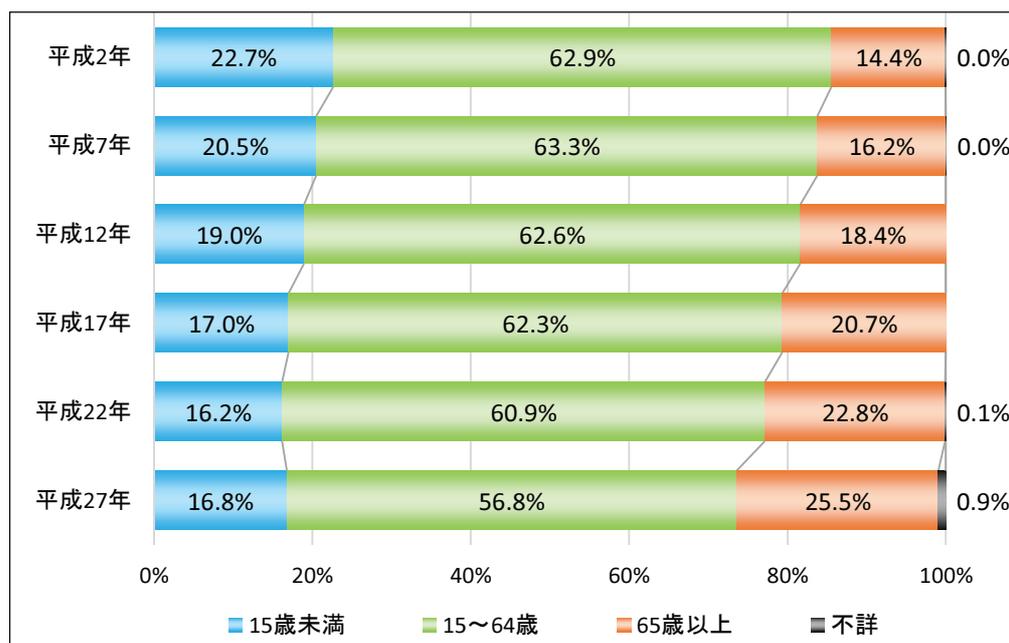
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
人口	21,011	22,941	24,056	24,545	24,800	25,404
世帯数	6,837	7,988	8,582	9,061	9,503	9,967
世帯当たり人員	3.07	2.87	2.80	2.71	2.61	2.55

資料：国勢調査

## (2) 年齢別人口

年齢別人口をみると、平成27年現在、15歳未満の年少人口が4,266人（16.8%）、15～64歳までの生産年齢人口が14,422人（56.8%）、65歳以上の老年人口が6,482人（25.5%）となっている。

経年変化をみると、老年人口の割合が増加傾向で推移しており、高齢化が進んでいる。また、年少人口の割合は、平成17年までは減少傾向で推移していたが、近年はほぼ横ばいで推移している。



年齢別人口の推移

表 年齢別人口

(単位：人)

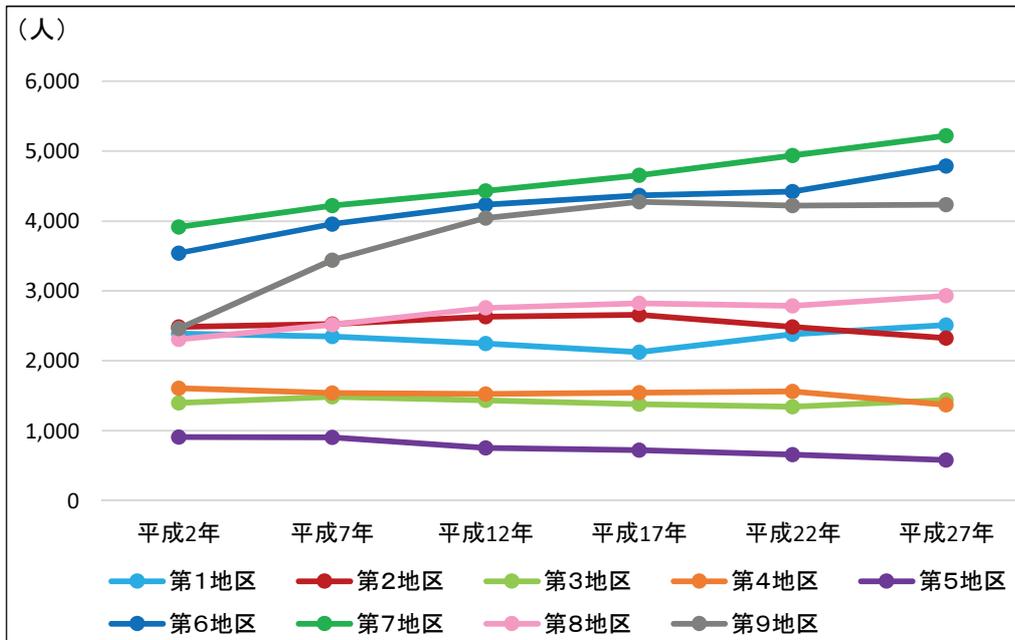
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
15歳未満	4,764	4,708	4,565	4,173	4,017	4,266
15～64歳	13,204	14,511	15,065	15,296	15,108	14,422
65歳以上	3,034	3,721	4,426	5,076	5,655	6,482
不詳	9	1	0	0	20	234
計	21,011	22,941	24,056	24,545	24,800	25,404

資料：国勢調査

### (3) 地区別人口の推移

地区別の人口推移動向をみると、平成27年現在、第7地区が最も多く5,222人、次いで第6地区の4,786人、第9地区の4,234人、第8地区の2,932人と続いており、人口の多い地区は全て町西部の都城市と隣接する地区となっている。

また、人口が増加傾向にある地区も都城市と隣接する地区である一方、町東部の第5地区では減少傾向で推移している。



地区別人口の推移

表 地区別人口の推移

(単位：人)

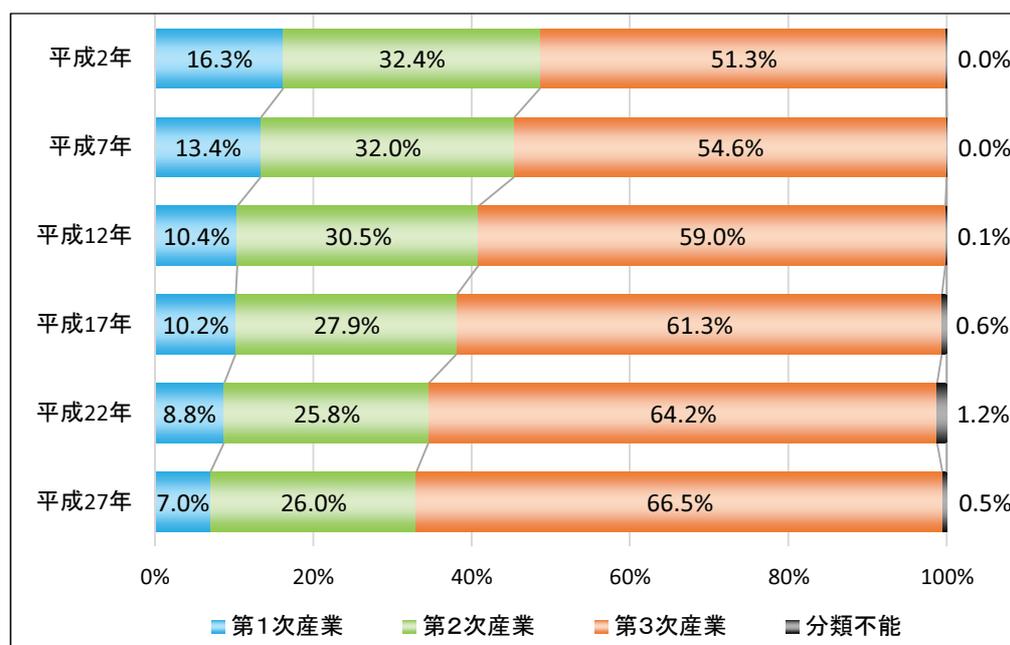
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
第1地区	2,387	2,349	2,247	2,122	2,378	2,512
第2地区	2,482	2,525	2,628	2,656	2,483	2,324
第3地区	1,396	1,485	1,433	1,380	1,342	1,438
第4地区	1,607	1,541	1,526	1,543	1,564	1,373
第5地区	910	905	753	724	661	583
第6地区	3,544	3,958	4,235	4,368	4,425	4,786
第7地区	3,916	4,223	4,434	4,654	4,940	5,222
第8地区	2,308	2,515	2,757	2,821	2,785	2,932
第9地区	2,461	3,440	4,043	4,277	4,222	4,234
計	21,011	22,941	24,056	24,545	24,800	25,404

資料：国勢調査

**(4) 産業別就業人口の推移**

本町の産業別就業人口をみると、平成27年現在で11,927人となっており、その6割以上が第3次産業に従事している。

経年変化をみると、第1次産業および第2次産業の減少に伴い、第3次産業の増加が顕著にみられる。



産業別就業人口の推移

表 産業別就業人口の推移

(単位：人)

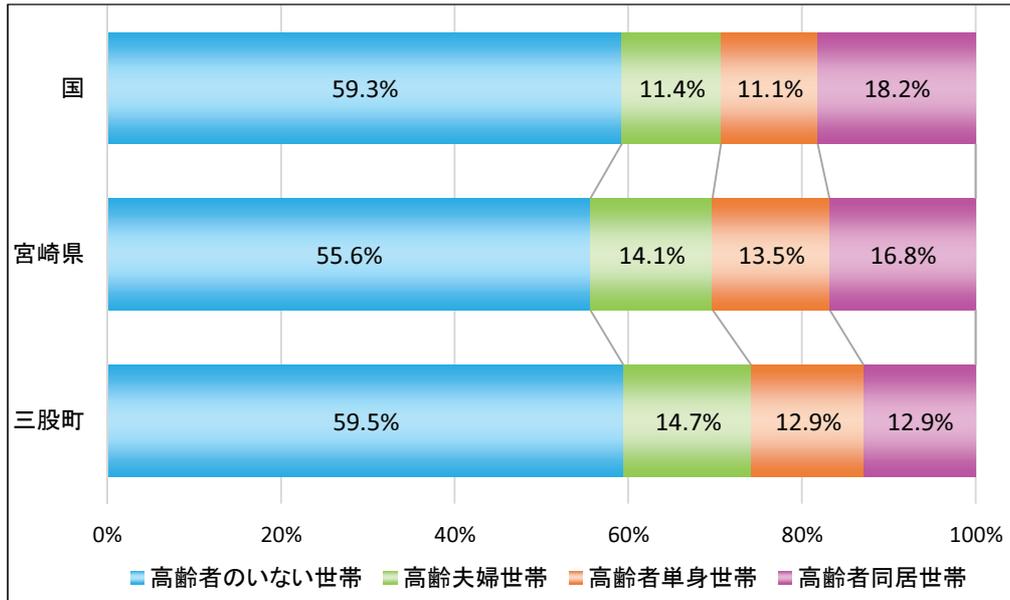
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
第1次産業	1,589	1,476	1,180	1,189	1,029	839
第2次産業	3,169	3,525	3,448	3,273	3,026	3,099
第3次産業	5,015	6,020	6,676	7,190	7,529	7,927
分類不能	4	1	5	70	143	62
計	9,777	11,022	11,309	11,722	11,727	11,927

資料：国勢調査

### 3. 高齢者世帯の現状

本町では、65歳以上の高齢者のいる世帯数は、平成27年現在で4,020人（40.5%）となっている。

また、高齢者単身世帯数は全世帯数に対して12.9%、高齢夫婦世帯は14.7%と全国と比較しても高い割合を占めている。その一方で、高齢者同居世帯は全国、県と比較しても低い割合となっている。



高齢者世帯の現状

表 高齢者世帯の現状

(単位：世帯)

	国		宮崎県		三股町	
全世帯数	53,331,797	100.0%	461,389	100.0%	9,935	100.0%
高齢者のいない世帯	31,618,489	59.3%	256,418	55.6%	5,915	59.5%
高齢者のいる世帯	21,713,308	40.7%	204,971	44.4%	4,020	40.5%
うち高齢夫婦世帯	6,079,126	11.4%	64,885	14.1%	1,463	14.7%
うち高齢者単身世帯	5,927,686	11.1%	62,524	13.5%	1,276	12.9%
うち高齢者同居世帯	9,706,496	18.2%	77,562	16.8%	1,281	12.9%

資料：平成27年国勢調査

#### 4. 土地利用現況

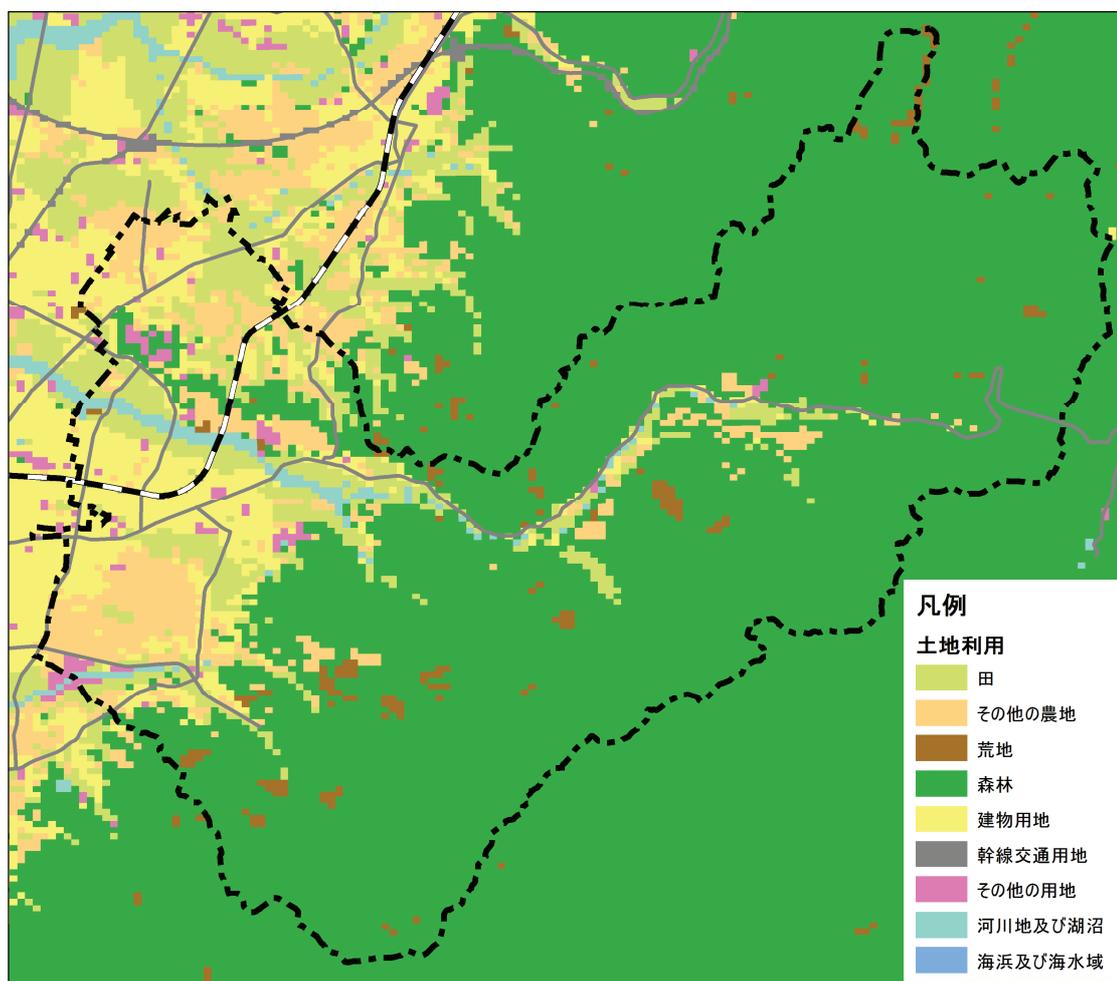
本町の土地利用状況をみると、町東部はほぼ森林が占めており、西部に町民の生活の中心となる市街地や農地が広がっている。

特に市街地部においては、土地区画整理事業の実施など計画的な都市基盤整備により、良好な住環境が形成されている。

表 都市計画区域・用途地域の指定状況 (単位：ha)

	面積	割合
都市計画区域	2,200.0	—
用途地域	510.0	100.0%
第一種低層住居専用地域	74.0	14.6%
第一種中高層住居専用地域	15.0	2.9%
第二種中高層住居専用地域	24.0	4.7%
第一種住居地域	257.0	50.5%
近隣商業地域	14.0	2.7%
準工業地域	70.0	13.7%
工業地域	17.0	3.3%
工業専用地域	39.0	7.6%

資料：都市計画現況調査（H26）



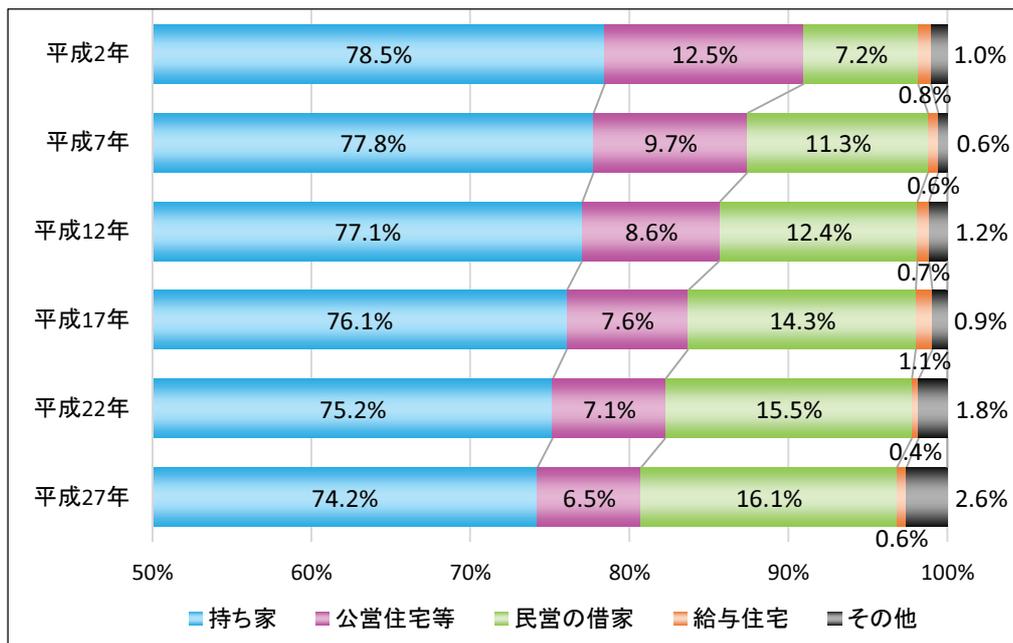
土地利用現況 資料：国土数値情報ダウンロードサービス

## 2-2 住宅事情の状況

### 1. 住宅戸数

本町の住宅戸数は、平成 27 年現在で 9,935 戸となっており、そのうち 74.2%が持ち家世帯となっている。公営住宅等の割合は 6.5%、民営の借家の割合は 16.1%となっている。

経年変化をみると、持ち家や公営住宅の割合が減少傾向にある一方で、民営の借家が増加傾向で推移している。



住宅戸数の推移

表 住宅戸数の推移 (単位：戸)

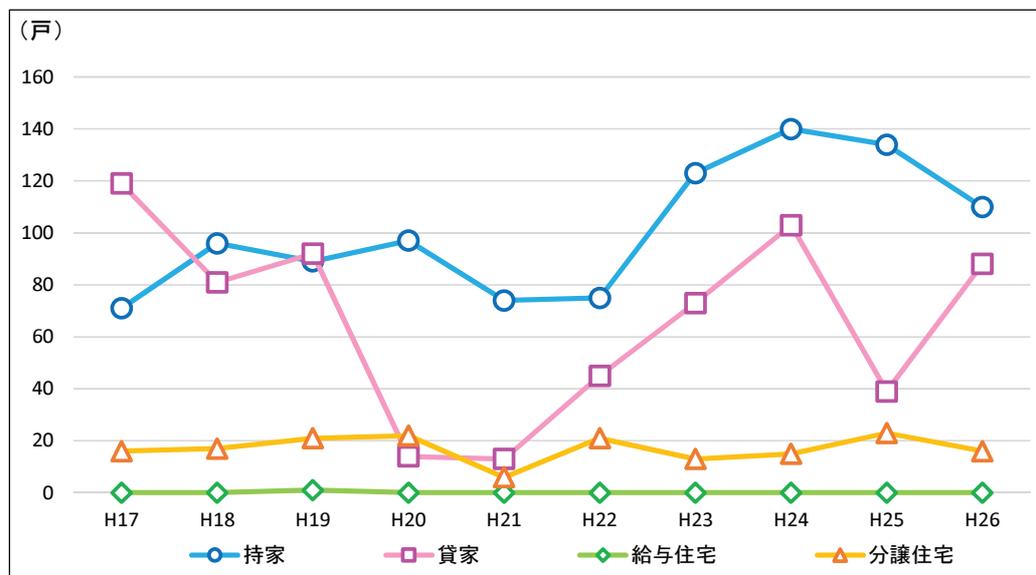
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
持ち家	5,348	6,126	6,600	6,878	7,132	7,373
公営住宅等	853	762	740	691	672	648
民営の借家	489	894	1,065	1,293	1,471	1,598
給与住宅	55	51	61	95	39	62
その他	70	44	99	84	171	254
計	6,815	7,877	8,565	9,041	9,485	9,935

資料：国勢調査

## 2. 新設住宅の戸数

本町の新設住宅戸数の推移をみると、持家は70～140戸／年の幅で推移しており、貸家は各年で幅が大きくなっているが、年平均70戸程度で推移している。

また、分譲住宅は平均20戸程度の横ばいで推移している。



新築住宅戸数の推移

表 新設住宅戸数の推移

(単位: 戸)

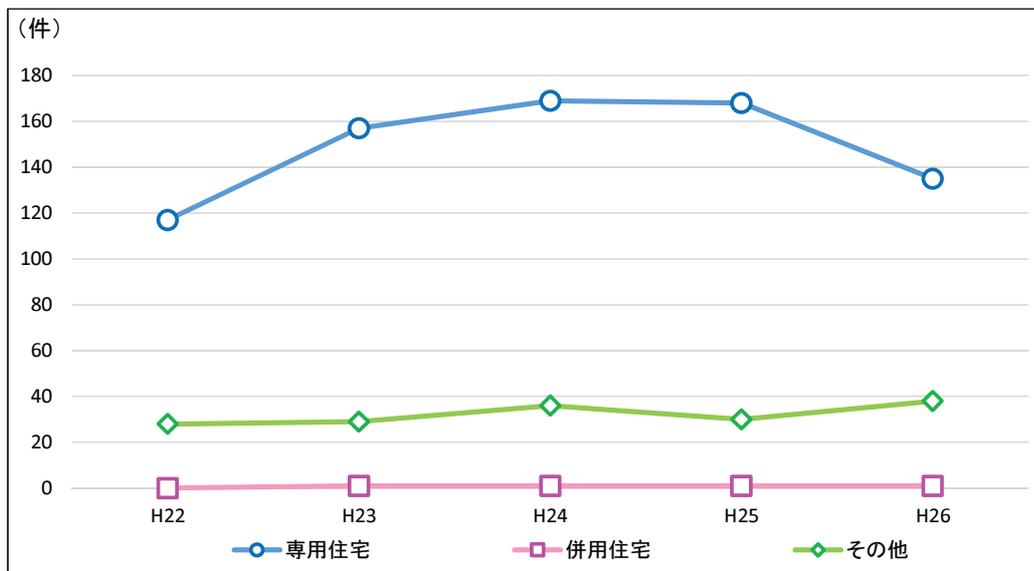
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
持家	71	96	89	97	74	75	123	140	134	110
貸家	119	81	92	14	13	45	73	103	39	88
給与住宅	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
分譲住宅	16	17	21	22	6	21	13	15	23	16
計	206	194	203	133	93	141	209	258	196	214

資料: 建築統計年報

### 3. 建築確認申請の状況

建築確認申請の状況をみると、平成 26 年度では 174 件あり、そのうち専用住宅が 135 件と約 8 割を占めている。

経年変化をみると、専用住宅は 120～170 件/年の幅で堅調に推移している。



建築確認申請の推移

表 建築確認申請の推移

(単位: 件)

	H22	H23	H24	H25	H26
専用住宅	117	157	169	168	135
併用住宅	0	1	1	1	1
その他	28	29	36	30	38
計	145	187	206	199	174

資料: 都市整備課

## 2-3 三股町の現況まとめ

これまでの本町の現況を再度整理する。

項目	現況
位置・地勢等	<ul style="list-style-type: none"> <li>本町の西側は都城市の市街地と隣接しており、宅地化等が進んでいる。</li> <li>交通網は国道222号と国道269号が通り、これらの幹線道路に連結する主要地方道や県道によって道路網が形成されている。</li> <li>また、JR日豊本線が通り、三股駅と餅原駅が存在する。</li> </ul>
社会・経済的状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口および世帯数は増加傾向で推移しているが、世帯規模は縮小している。</li> <li>老年人口の割合が増加傾向で推移している。</li> <li>地区別人口は都城市に接する地区で多くなっている。</li> <li>産業は第3次産業の割合が増加傾向で推移している。</li> </ul>
高齢者世帯の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者を含む世帯が約4割を占め、高齢者単身世帯は約13%となっている。</li> </ul>
土地利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>町東部は自然的土地利用、西部は都市的土地利用となっており、特に市街地部においては土地区画整理事業等により良好な住環境整備がなされている。</li> </ul>
住宅事情の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>持ち家や公営住宅等の割合が減少傾向にある一方で、民営の借家が増加傾向で推移している。</li> <li>新設住宅戸数をみると、持家は70~140戸/年の幅で推移しており、貸家は各年で幅が大きくなっているが、年平均70戸程度で推移している。</li> <li>建築確認申請の状況は、専用住宅が120~170件/年の幅で推移している。</li> </ul>

